

「もしも」「まさか」の
あなたを守る

救急・消防 最前線

vol.28

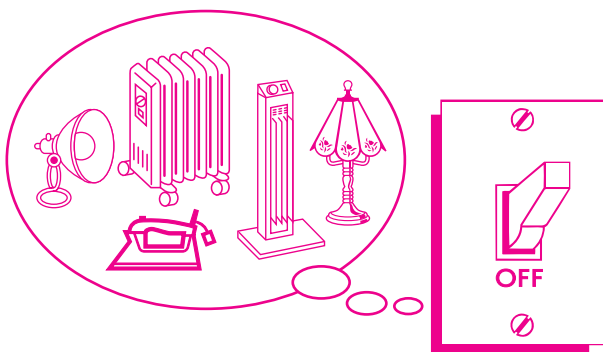
通電火災に ご注意ください！



市消防本部
☎⑤0123

地震が起こったら、二次災害で火災が起こることは、皆さんご存じだと思います。

では、地震による火災の一番の原因は何でしょうか？料理中に地震が起こり、コンロの火が燃え移るといったこともよく聞きますが、実は、一番多いのは「通電火災」なのです。



通電火災って何？

大地震が発生すると、電力会社では安全のために自動的に電気供給をストップさせるようになっていきます。そして数日経つと、また供給が再開されます。地震が起こったときに、スイッチを入れたままの電気ストーブやアイロンなどの電化製品が倒れていたり、家具の下敷きになって絶縁が破られるなどして、導線がむき出しになったコードがあつたとします。それを放っておいて、いざ電気供給が再開されると・・・急に電気が流れると、ショートなどによる火災が発生することがあります。阪神大震災では、なんと発生火災の六割以上は電気ストーブ・照明器具・水槽用ポンプやヒーターなどによる通電火災が原因だったといわれています。

通電火災の対処方法は？

揺れが収まったら、必ずブレーカーを落としましょう。各電化製品のコンセントを抜くと、なお安全です。慌てて何もしないで避難したという事例がとても多いのですが、落ち着いて、ガス栓を閉めたり、ブレーカーを落としたりする余裕を持ちましょう。なお、通電火災対策用品として、自動的にブレーカーを切ってくれる装置や、揺れを感知して電源を自動的に止める遮断コンセントなど、さまざまな商品があります。

消防に対する ご意見・ご質問は

北消防署 ☎③01119
南消防署 ☎③01119
濃南分駐所 ☎⑤01119

へどうぞ

知って得する

No.11

暮らしのアドバイス

アクセサリーの手入れ ~大敵は汗やほこり~

アクセサリーをいつまでも美しく保つには、普段の管理が大切です。特に汗をかきやすい季節は、外出後のお手入れが欠かせません。

アクセサリーを外したら、柔らかい布でやさしく拭き、表面に付いたほこりを取り除きます。宝石によっては、ほこりで傷が付いてしまうものもあるので、細かい細工のすき間は、専用の小さな筆で丁寧にほこりを払いましょう。

汚れが目立ってきたら、アクセサリーの素材に合わせた手入れをします。

金や銀、プラチナなどの金属類は、毛の柔らかい古歯ブラシに練り歯磨きが重曹を付けて磨きます。その後ぬるま湯ですすぎ、柔らかい布で水気を拭き取りま

しょう。細かいチェーンは磨きにくいので、中性洗剤を加えた水に1時間ほどつけ、軽く洗ってから布の間に挟むようにして乾かします。

ダイヤやルビー、サファイアなど硬質の宝石は、せっけん水につけて古歯ブラシでこすり、細工の隅々まで汚れを落とします。後はよく水洗いをして布で水気を拭き取りましょう。

真珠やオパールなどは、傷つきやすく酸に弱いので、汗は大敵です。汚れていないと思っても、使用後は必ず布で拭きます。真珠は中に水分が入ると光沢が失われるので、水洗いは厳禁。汚れたときは、少量のオリーブオイルを付けた布で拭き、硬い宝石に触れないように、別にしてしまいましょう。水晶も傷つきやすいので、せっけん水で洗って布で水気を拭き取りましょう。真珠や水晶のネックレスは時々糸を点検し、弱っていたら取り替えましょう。

べっ甲やサンゴ、琥珀は虫がつきやすいので、よくから拭きをしてから柔らかい紙に包み、防虫剤と一緒に湿気のない場所で保管します。

